

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																		
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		校訓、教育努力目標を明文化し、学校のあるべき姿を教職員に示して説明している。 教職員は、自らの使命を理解し、やりがいを感じている。								8	9									17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		遵守すべき法令等について、個別に規定等を設けて、法令順守の重要性を、全教職員に向け周知している。 職員研修や生徒研修をおこない、新しい法令にも対応するよう意識づけしている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		物品を調達する際や、契約書を結ぶ際には、金額によって見積書を複数の業者に提出してもらい、りん議書にて決裁をもらうよう規程に定めている。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		教務部、総務部、生徒指導部、進学指導部、就職指導部、入試広報部を設置し、定期的に部会を開催し、現状の把握及び、各部の既定の見直しなどを行う機会を設けている。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		著作権を侵害しないことなどを心がけ、組織内の知的財産においては一元的に管理している。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護の定義及び、個人情報の保護に関する法律その他関係法令を遵守し、個人情報保護に関する取扱についての旨を本校ホームページで公開している。年度当初に生徒の肖像権に関するアンケートをとり、肖像権を侵害しないよう取り組んでいる。															16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		生徒を対象としたアンケートの実施や、校舎内に相談ボックスを設置し生徒の声を学校教育に反映している。 生徒・保護者・教職員の学校評価に関するアンケート結果を、本校ホームページで公表している。育友会総会で紙媒体で配布している。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	WAKU！わく！広場(文化祭)に出店される業者には、行事が教育の一環であることを伝え、来場者への適切な対応をとるようお願いしている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	「あんしんメール」を本校入学時に生徒及び保護者に登録してもらうことで、地震や台風をはじめとする有事の際にすぐに連絡が取れる体制を整えている。本校ホームページに「緊急時・災害時の対応について」の文書を公開し、周知している。 学期ごとに防火訓練や防災教育をおこなっている。また、防災倉庫を設け、緊急時に備えている。									9		11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	新任教員に対する指導を各部の部長や担当職員が実施し、研修も取り入れることで、教員の育成に取り組んでいる。 本校創立の背景や教育事業展開の経緯を継承するために周年ごとに周年誌を発行している。								8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	文化祭において、フェアトレード商品販売ブースを設け販売を行っている。販売には担当教員のほか生徒がつくことでフェアトレード商品の主旨や背景にある環境などへの理解も深めている。 商品は熊本市のフェアトレード商品取扱店に協力してもらい販売している。	1	2			5			8					12	13	14	15	16	17

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:			・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																		
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		「いじめ防止基本方針」を策定し、差別や各種ハラスメントを防ぐ態勢を整備している。スクールカウンセラーとの相談体制の整備や、「こころのアンケート」を実施し些細なことでも担任との面談ができる環境を整えている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		労働安全の意識向上を図るため、運営委員会が週に一度、また随時必要な際に実施されている。荒天が予想される時や荒天の時は自分自身の安全を第一に行動するよう認識を共有している。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同一労働同一賃金の原則に従い、育児や介護、休養の見直しを行い、雇用形態に関わらない均等・均衡待遇を確保している。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		出退勤管理システムを導入し、事務室で一元管理している。有給休暇取得や、休日労働に対する代休取得を奨励している。 学校の夏季休暇期間には有給休暇とは別にリフレッシュ休暇を設けており、家庭や自己研修の時間を確保できる環境を整えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		教職年数に応じた研修を取り入れている。 放課後や学校の夏季休暇等を利用し、外部講師を招き研修を行っている。大学進学予備校が開く教員研修(国語・数学・英語・地歴公民・理科)に教科ごとに参加している。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		教職員もスクールカウンセラーに相談できる体制をとっている。 教職員に対しストレスがかかりすぎているか、仕事の量が見合っているか等のアンケート調査が行われ、必要に応じて面談や相談を実施している。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		高齢者雇用安定法に基づき、定年を迎えた教員で希望するものについては、引き続き再雇用職員として採用している。外国語教員として外国人を雇用している。高齢者も雇用している。女性教職員の割合も40%を占めている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		教職員にノートパソコンを支給、生徒にはIT端末を購入してもらい、テレワークやオンライン授業に向けた準備を進めている。新型コロナウイルス感染症流行時は、オンラインでの会議や研修を行っている。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		ICT・DX化推進委員会を設置し、授業や校務のICT・DX化に取り組んでいる。 令和6年4月DXハイスクールの認定。校内外の教員や生徒を対象にICT研修会を実施している。								8	9.1		11	12						
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9			12					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		校内で発生する廃棄物や地域清掃時に回収したごみは、校内のゴミ分別ルールに基づき適切に分別を行っている。 ペットボトルキャップは清掃時間に担当生徒が回収し、洗い、乾燥させ回収業者に渡しワクチン代として寄付している。玉名市役所の理解を得て回収ボックスを玉名市図書館にも設置し市民からも協力を得ている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		17
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用いてエネルギーの使用量を把握している。具体的な取り組みとして、校内電源の至る所に節電及びSDGsの目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」のロゴを掲示し節電を呼びかけている。夏季は昼休みに節電のため生徒会が照明の電源オフをよびかけている。冷房を入れているときはカーテンを閉め、室温を下げるようしている。							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートを用いてエネルギーの使用量を把握している。具体的な取り組みとして、上記No23の取り組みによるエネルギー使用量等の削減を通じて温室効果ガスの排出の抑制に取り組んでいる。教職員はハイブリッド車や電気自動車を購入し温室効果ガス排出抑制に寄与している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		家庭科の授業や各家庭で出た使用済みの食用油を再利用し、自然界で分解される環境に配慮したはいゆせっけんの作成を家庭科の授業で行っている。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		教職員が使用するホワイトボードマーカーカートリッジの空を回収しリサイクル業者に渡している。 使用済みの体育館シューズを生徒が洗い、発展途上国へ寄付する活動を毎年行っている。 トイレットペーパーは芯のないものを使用し、芯ありのものは芯を回収しリサイクルしている。 各種印刷物は可能な限り裏紙を利用し、使用済みとなったものはシュレッダーにかけ、古紙、段ボールと共にリサイクルを行っている。 エコキャップの回収だけでなく使い捨てコンタクトレンズケースの回収し、アイシティへ持参している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水道のある場所にSDGsの目標6と14のロゴを掲示し、水の質と量の保全に取り組んでいる。 「水の国高校生フォーラム」に参加し、熊本の水の豊かさ、保全について理解を深める機会を提供している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		再生用紙の利用に取り組んでいる。液体せっけんは環境に配慮した製品を使用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	学食では適正な量を注文して食事を残さないように指導している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	本校正面玄関前に花卉を植栽し管理している。新たに樹木を植栽し校内の緑化に取り組んでいる。 雑草を定期的に抜いたり、伸びた木の枝を剪定したりして、植物の生育環境を整えている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	教室のエアコンを適宜新機種に変更し消費電力の削減に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	地元の海岸や学校近くの川の土手などのゴミを回収し分別している。 教職員が使用するホワイトボードマーカーカートリッジの空を回収しリサイクルに回している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		二酸化炭素削減などを意識しておよそ56%の教職員が電気自動車(ハイブリッド車を含む)を使用している。 登下校時学校から8km以上離れている生徒に限り原動機付自転車での通学を許可し、それ以外の生徒へは、徒歩、自転車、スクールバス、JRの利用を通学距離に合わせ選択できるようにしている。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		教育の保障に関する取組みとして、生徒、保護者に学校評価アンケートを実施して結果を公開し、改善すべき点においては職員会議などで確認改善の周知を行っている。 各学科・各学年に対応した講座を開講したり、高大連携プログラムを実施したりと、教育の質を高める活動に地域の協力も得ながら取り組んでいる。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		障がい者用のトイレや校舎への入り口など段差のある所にはスロープを設けている。各階に「誰でもトイレ」を設置して誰もが利用できるようにしている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		文化祭では、国際ビジネス科と情報メディア科の生徒が販売実習の一環として地元商店街や農家、県内の商店と連携して来場者に商品の紹介と販売を行い、地域資源の魅力を発信している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		大豆の価値を高めるために県内企業とタイアップして商品開発を行い店頭で販売した。家庭科の授業で「【玉名市】ミニトマト魅力化大作戦」と銘打って産学官でミニトマトを使ったレシピの開発やPRについて学習している。	1		3	4				8				12					17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域の清掃活動を大規模なものは学期に一度、本校から最寄り駅までなど近辺のものに関しては各クラスが交代制で毎日放課後行っている。 地域行事への参加や、学校外から活動案内がきたものもできる限り生徒に呼びかけ参加を促している。具体的には、玉名市の防災フェスや「未来づくり研究所」、大俵祭り、花しょうぶ祭りなどに参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		地震等発生した際の校内避難マップを作成し、階段や出入口等で混雑することがないよう避難ルートを確認しながら避難訓練を行っている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	生徒会役員が「ひのくに防災塾」を受講し、防災士の資格を取得し文祭で防災コーナーを設け、市民に防災の意義をとнаえた。また、玉名市の防災フェスにも参加した。年に2回、防災教育や防火訓練を実施し、避難訓練や消火器の操作方法について学んでいる。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	文化祭で災害時車両の展示などを行い、災害時の活用方法について生徒や保護者、市民に紹介している。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		毎年11月におこなうクリーン作戦では、本校生徒・職員と本校がある上野口区の住民や玉名市役所職員とともに清掃活動を行っている。令和6年度は、民間企業からの参加希望もあった。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		令和4年度と5年度は、玉名市の児童を夏季休暇中に1日だけ受け入れ、パソコン体験とSDGsについての学習を行った。 文化祭では、国際ビジネス科と情報メディア科の生徒が玉名市内外の商店から商品を仕入れ販売する実習を行っている。				4					8.6	10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		県内の企業説明会に生徒、学級担任、就職指導部の担当教員が参加し、県内の企業の募集動向などの情報を得て、情報を入手している。				4.4					8.5 8.6								17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15	